



SGH News Letter No.8

平成30年3月5日発行 愛媛県立松山東高等学校



目次

- ◆海外 FW 報告会の実施報告
- ◆海外 FW 実施報告
- ◆2017年度活動実績
(海外交流等)

海外フィールドワーク報告会 の実施報告

日時：平成29年8月31日(木) 14:00~16:00

会場：松山市立子規記念博物館 4階講堂

内容：14:00~14:05 校長挨拶

14:05~14:20 ハワイ短期語学研修発表・質疑応答

14:20~14:35 台湾コース発表・質疑応答

14:35~14:50 フィリピンコース発表・質疑応答

15:05~15:35 比留学 JAPAN 日本代表メンバー参加者
(3人) 発表・質疑応答

15:35~15:50 日本の次世代リーダー養成塾参加者発表・質疑応答

15:50~16:00 指導講評

海外フィールドワーク 実施報告

2学期以降に実施した海外FWの感想や様子をまとめました。

行先	日程	行程	生徒感想(一部抜粋)
ウガンダ	11/4	中部国際空港→アブダビ空港	<p>・移動に24時間を要し、世界の広さを知ることができた。今まで参加した語学研修や修学旅行とは違い、現地の深部まで掘り下げての活動だったと思う。特にナイル川の架橋の見学は興味深く、多くの企業が多くの国から参加しており、国際協力の1つのピークを見られたと思う。また、現地の食事を食べることもでき、食生活についても学ぶことができた。</p> <p>・現地の学校では、よくテレビや本で伝えられるかわいそうなイメージとは違って、楽しそうにのびのびと学ぶ子供たちの姿が見れて、私たちがアフリカについて知っていることは一部だけなんだと思った。国際協力を見つめ直すきっかけとなった。</p> <p>・青年海外協力隊の活動に参加するつもりはなかったが、実際の現場の様子をみて、現場で働くことの良さや大切さも感じた。また実際に JICA の活動がどのように役立っているのかがわかり、国際支援に興味をもった。</p> <p>・協力隊の方々からリアルタイムなお話を聞き、日本人が世界のために活躍している現場を見て、自分もこういう人になりたいと普段へのモチベーションが上がった。</p> <p>・自分の英語力がまだ足りないと思いました。もっともっと勉強して、外国人と話したり一緒に仕事ができるレベルになれるよう努力したいです。</p>
	11/5	→エンテベ空港→市内へ	
	11/6	JICA、国立作物資源研究所見学 赤道・カンパラ市内見学	
	11/7	青年海外協力隊と交流および 同活動見学	
	11/8	ナイル架橋工事現場視察 青年海外協力隊活動見学	
	11/9	在ウガンダ日本大使館訪問 「あしながウガンダ」(エイズ 遺児支援のNGO) 見学・交流	
	11/10	野生生物教育センター見学 エンテベ空港→アブダビ空港	
	11/11	→中部国際空港→松山空港	



ドイツ			
-----	--	--	--

行先	日程	行程	生徒感想（一部抜粋）
ドイツ	11/8	松山空港→羽田空港→フランクフルト空港→フライブルク市	<p>・全体としては、綿密な計画でとても有意義な数日間であった。フライブルク市役所のブルガー部長の話や、エコステーションでの体験などのフィールドワークでしかできない貴重な経験ができた。また、フライブルクの街並みや人々の温かさ、大聖堂のミサなどの普段ではあり得ない特別な体験をすることに自分が成長していくのを感じ、うれしく思った。</p> <p>・「フライブルク市の環境政策」について行政と市民の双方の視点から深く詳しく学ぶことができて良かった。特にエコハウスが立ち並ぶ地域を視察した際の随所に施された地球温暖化対策や、行政だけでなく市民が主体となって行われる様々な取り組みを体感できたことは自分にとっての大きな財産となった。日本で生かせる取り組みも学ぶ事ができなのでそれを自ら実行していくことが大切だと痛感した。</p> <p>・グリーンシティや環境についての教養が深まり、環境についての意識が変わった。松山の良い所や悪い所、今後の課題に気づかされ、自分としても新たな刺激を貰い、たくさんのやる気を貰い、とてもいい研修だった。</p> <p>・見せかけの緑化でなく基盤から何十年もかけて町を作りかえていくというレクチャーを受け続けて、日本のしている植林活動や清掃活動を売り出していくだけではこの先環境面でも衰退していくかもしれないと思った。</p> <p>・もう少し進路を考え直して学びたいことを学べる大学にいきたいと思った。論文や発表でできるだけ多くの人に共有できたらいいなと思います。</p>
	11/9	別地区ボーバン区画の見学等 市役所訪問（環境施策講義） 現地学校訪問	
	11/10	環境施策見学（森の家・ハウス）	
	11/11	市内見学（レンタル自転車・歴史博物館）	
	11/12	フライブルク市→フランクフルト	
	11/13	空港→羽田空港→松山空港	

2017年度 海外での活動（留学・研修）実績

本年度も多くの生徒が海外でのフィールドワークや留学を経験することができました。

内容	訪問先	期間	学年	人数
修学旅行	ロサンゼルス	2017/5/8~2017/5/13	2	120
高校生の留学促進事業（短期派遣）プログラム	ハワイ	2017/7/23~2017/8/8	1・2	15
高校生の留学促進事業（短期派遣）プログラム	ハワイ	2017/9/30~2017/10/5	1・2	2
トビタテ!留学 JAPAN	アメリカ・ワシントンDC	2017/7/23~2017/8/7	2	1
	カナダ・モントリオール	2017/7/9~2017/7/24	1	1
	アメリカ・カリフォルニア	2017/7/16~2017/7/30	1	1
海外フィールドワーク	台湾	2017/8/8~2017/8/11	1	8
	フィリピン	2017/8/8~2017/8/12	1	8
	ウガンダ	2017/11/4~2017/11/11	2	8
	ドイツ	2017/11/8~2017/11/13	2	7
海外研修(2017 UCL Japan Youth Challenge)	イギリス	2017/7/21~2017/7/30	2	4
海外留学	アメリカ・メイン州	2017/8/1~2018/7/31	2	1
	アメリカ・アラスカ州	2017/8/1~2018/7/31	3	1

延べ177人

国内での活動実績

＜留学生の受入＞ 2人（フィンランド・アメリカ）

＜各種大会への参加及び外国人との交流＞ 延べ 964人

- 台湾修学旅行生との交流（514人）
- 愛媛県高校生国際交流促進事業 俳句体験・見送会
- 第14回日本の次世代リーダー養成塾
- 2017 SGH 全国高校生フォーラム

●平成29年度四国高等学校国際教育生徒研究発表大会

●SGH甲子園

●WATOTO 聖歌隊との交流

●インターナショナルデー交流（97人）

その他、SGH部の活動やスピーチコンテスト等

中四国SGH高校生会議を開催

昨年度より範囲を広げ大阪・岡山・広島・徳島・高知の高校も含めた8校、43名が一同に会し、宿泊施設を備えたえひめ青少年ふれあいセンターで1泊2日の交流を果たした。この会議は、都市部の高校に比べ、他校との交流の機会が少ない地方の高校生が集まり、自分たちのSGH事業での活動について発表したり、意見交換などによって、SGH事業の充実を目指した。今回は特にディスカッションで4つの班に分かれそれぞれのテーマ（世界の課題）について他校の生徒と意見を交わしながら「高校生の私達に何が出来るか」を考え、まとめた。



発行元：愛媛県立松山東高等学校 SGH 事業課